

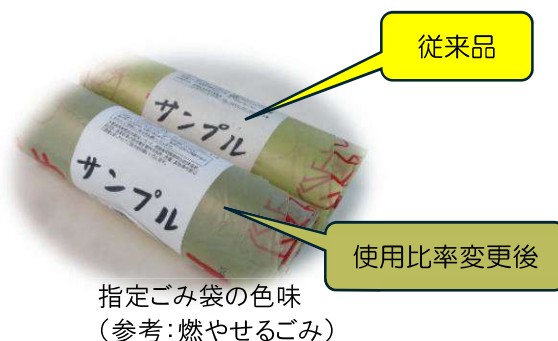
もとみやクリーンセンターから指定ごみ袋に係るお知らせ

組合では、指定ごみ袋の安定した供給と、住民の皆さまの負担ができる限り増えないよう努めております。

指定ごみ袋の供給そのものは、これまでどおり確保されており、入荷が止まる心配はありません。

◆ 色味の変更について

安定供給を図るため再生原材料の使用比率を高めており、すべての指定ごみ袋の色が従来品より黒みがかった色合いとなりますが、品質は変わりませんので安心してお使いください。



◆ 販売価格の変動について

最近の物価上昇により、原材料となるプラスチックの価格が上昇しているため、8月以降、原材料価格が落ち着くまでの間は、販売価格が上昇する見込みです。

店舗での仕入れ時期や在庫状況にもよりますが、買い占めやまとめ買いをしてしまうと、指定ごみ袋が皆様に行き渡らなくなる可能性がありますので、過度な購入は控えていただきますようお願いいたします。

組合では、ごみの減量につながる情報をわかりやすくお伝えし、少しでも暮らしの助けとなるよう努めてまいりますので、ごみの減量や分別の徹底について、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

【ごみを減らす工夫】

ごみになりにくいものを選びましょう。	過剰包装の少ない商品など、なるべくごみが出にくいものを選んでみましょう。
生ごみは水分を切りましょう。	生ごみの約80%は水分といわれています。出す前に水分を切ることで、ごみの体積を減らすことができます。
雑がみをリサイクルしましょう。	資源化可能な紙類のうち約50%が焼却されています。資源化として分別し、可燃ごみの量を減らしましょう。 * 雑がみとは、プリントやメモ用紙、封筒、トイレットペーパーの芯などをいいます。 * 転写紙や感熱紙は資源化ができませんので、可燃ごみとして処理します。
すぐに捨てずに再利用してみましょう。	使わなくなったものは、フリーマーケットやリサイクルショップを活用するなど、なるべく再利用しましょう。